

2010年12月4日

カトリック京都司教区  
京都南部地区共同宣教司牧ブロック  
担当司祭・信徒・修道者のみなさま

カトリック京都司教  
+パウロ大塚喜直

## 小教区適正配置の中間報告

わたしは、昨年2009年12月10日の教区宣教司牧評議会で、「小教区適正配置についての方針」を発表しました。これは、教区の将来を見据え、より一層の福音宣教の推進のため、その力を結集するために、「共同宣教司牧」の推進とともに、「小教区の適正配置」についても積極的に選択していくためです。

各地区から答申を受けて検討した結果は、京都北部・宮津ブロックの六教会(宮津;加悦;岩滝;丹後大宮;峰山;網野)、京都北部・舞鶴ブロックの丹波三教会(福地山;報恩寺;綾部)と、京都南部地区の全ブロックの教会が小教区適正配置の検討対象となりました。他のブロックは、おおむね現行の小教区配置で、さらに「共同宣教司牧」を推進することによって、福音宣教する共同体づくりの充実を図ることにしました。

さて、上記の標記の小教区適正配置検討の3つのブロック・地区は、一年間の検討の結論が中間報告として、司教に答申されました。わたしはそれを司教顧問会、司祭評議会に諮問し、共に同意を得たので、ご報告いたします。

繰り返しますが、小教区適正配置とは、「福音宣教をしていく共同体」になるために、将来を見据えて、どこにいくつの拠点を置くか考え、その体制に移行していくことです。したがって、小教区適正配置は、消極的な統廃合ではなく、地域・社会に向かって福音宣教をするために、分散されてしまっている力を結集する積極的な取り組みです。

そこで、具体的な歩みを見る前に、ここであらためて、わたしたちが小教区適正配置を行って行くうえで、大切な教会の教えを確認したいと思います。

### 1. 確認したい教会の教え

#### 1) 主イエス・キリストによる教会の創立

主イエス・キリストは「神の国」の福音を述べ伝え、人類の救いのために自らを与え、わたしたちを罪と死のくびきから栄光にお召しになった。そして、その救いの業を世界に告げ知らせるために、わたしたちを新しい神の民として呼び出し、ご自分の神秘的体である教会を創立された。さらに主イエスは、自らの生き方を記念する聖体の秘跡を記念するように教会に委ね、聖体の秘跡によってキリストの体である教会共同体が建設されるようにお定めになった(教会にいのちを与える聖体 22、33)。

#### 2) わたしたちはすでに福音宣教者

わたしたちは主キリストによって呼び出された神の民であり、わたしたち教会共同体は福音宣教者として今すでにこの世界に遣わされている。わたしたちはそれぞれ与えられた身分、状況、役割において、わたしたちが生きている社会で、職場で、学校で、地域で、家庭で、そして老いや病床という場において、キリストの福音を生き、それを証しするように呼ばれている。わたしたちは戸惑いと不安を感じながらも、キリストの福音をそれぞれの場で生きることによって福音を伝える宣教者である。

### 3) わたしたちは信仰共同体によって養われ、派遣される

また、神の民であるわたしたちは信仰共同体として集まり、初代教会の実践にならって、「使徒の教え、相互の交わり、パンを裂くこと、祈ること」(使徒言行録 2 章 42 節)に専念する。わたしたちは教会共同体として、自らの生き方をミサによって実現し、福音の光によって照らされ、祈りと相互の分ち合いを通して支えあう。こうして信仰共同体のなかで、キリストに養われ、最後まで自らを与え尽くされた主イエスの生き方を学んだわたしたちは、お互いに与え合うものとして成長し、それぞれの生活の場に派遣され、神との親しい交わりである「神の国」を証しする。

### 4) 神の民は「神の国」を目指して旅する

「神の国」を証しするこの神の民はまた、「世の終わりに、神によって完成され」(教会憲章 9)の「神の国」を目指して旅する者である。この世において旅人であるわたしたちは「寄留者(パロイコス:小教区の語源)」(エフェソ 2 章 19 節)であり、本来「地上ではよそ者であり、仮住まいの者」(ヘブライ書 11 章 13 節)なので、この世のある場所に住むが、この地上に安住の地をもたないという意味を含んでいる。

わたしたちの集う小教区とは、もともと、「牧者によって率いられる、この世には国籍をもたない寄留者(パロイコス)であるキリスト信者の共同体を意味している」(新カトリック大辞典・小教区)ことも心に留めるようにしたい。

## 2. 小教区適正配置の中間報告

「小教区適正配置」は、以上の教会の教えと精神を踏まえて、旅する神の民として世に遣わされている教会共同体が一層その使命を果たそうとするための取り組みです。

3つのブロック・地区の小教区適正配置は、以下の方向で進んでいます。

### 1) 京都北部地区舞鶴ブロック福知山エリア

- ・ 小教区適正配置委員会としては、将来的に一小教区三聖堂、あるいは一小教区二聖堂の可能性を選択した。但し、福知山のテレジア幼稚園の移転計画があり、合わせて検討していく必要がある。
- ・ 京都北カトリック学園の理事会は聖テレジア幼稚園を移転し、将来的に聖テレジア幼稚園と報恩寺の小さき花幼稚園を統園する方向を示している。
- ・ 聖テレジア幼稚園の移転先に、教区としても教会施設を建設する可能性について検討している。

### 2) 京都北部地区宮津ブロック

- ・ 小教区適正配置小委員会の結論としては、六教会は、将来的に一小教区となる統合案を選択し、信徒にアンケートを実施している。

### 3) 京都南部地区

- ・ ブロック・小教区の過去の経緯、地域性、現在の信徒の状況、信徒の移動についての可能性、交通の便、派遣する司祭の可能性、司祭数の減少などを考慮に入れながら、2011年復活祭以降、新しい以下のブロックを創設する。

#### 京都南部地区 新ブロック

- |             |                           |
|-------------|---------------------------|
| A. 「洛北ブロック」 | : 衣笠 (宇津・山国)、高野、小山、西陣、北白川 |
| B. 「洛東ブロック」 | : 河原町、伏見、山科、桃山、           |
| C. 「京丹ブロック」 | : 西院、桂、丹波、長岡、九条           |
| D. 「山城ブロック」 | : 田辺、宇治、精華、青谷、八幡          |

新ブロックの体制で、次年度から時間をかけて信徒・奉献生活者・司祭がお互いの使命と役割を自覚しながら、そのブロック内で、将来の福音宣教の拠点となる小教区適正配置を考えていく。

以上。

## 小教区適正配置の中間報告 その2

### 3. 三重地区のブロックの改編について

- ・三重地区は、現行の3つのブロック(北勢・中勢・南勢)であるが、中勢ブロックと南勢ブロックを結合して、一つのブロックにします。
- ・南勢ブロックは、松阪と伊勢(尾鷲共同体を含む)の2教会であり、司祭2人が任命されているが、人事配置が困難になりつつある。また、ブロック活動としても、中勢ブロックとの連携も可能ではないかと思われる。
- ・京都南部地区の小教区適正配置の取り組みの一環として、来年度から4つの新ブロック創設で、教区として、司祭の人事異動が大幅に行われる予定である。
- ・三重地区を南北2つのブロックとして、名称も三重地区の「北部ブロック」「南部ブロック」としたい。
- ・2011年復活祭以降、三重地区の現行3ブロックを、「北部ブロック」(桑名・亀山・鈴鹿・四日市)と、「南部ブロック」(上野・名張・津・久居・松坂・伊勢)に改編・改称する。

### 4. 京都南部地区の新ブロック創設、および三重地区ブロック改編に伴う諸事項

#### ① 新ブロックの開始時

来年2011年復活祭(4月24日)後、すなわち、担当司祭の任命が発効する4月25日からです。したがって、2011年1月から、次年度が始まりますが、1月から4月まで、現行のブロックのままで活動してください。

#### ② ブロック宣教司牧計画の作成について

京都南部地区の新ブロックと、三重地区南部ブロックの次年度の「小教区の計画」の作成は必要で、可能だと思いますが、ブロックの長期、及び短期ブロック宣教司牧計画の作成は事実上、無理ですので、作成する必要はありません。

#### ③ ブロック会計

ブロック会計は、2011年4月末日で終了し、5月から新ブロック会計を開設してください。4月末日までのブロック会計の報告方法については、後日お知らせいたします。

- ・京都南部地区  
4月末日の各ブロック会計の残金を、旧ブロック内の小教区に適切な仕方で、返却する。
- ・三重南部ブロック  
旧中勢ブロックと旧南勢ブロックの残金を合算して、「南部ブロック」の収入とする。

以上。